

「(仮称) 道の駅姫路」整備及び運営事業 審査講評

令和 8 年 2 月

(仮称) 道の駅姫路整備運営事業者審査委員会

(仮称) 道の駅姫路整備運営事業者審査委員会（以下「審査委員会」という。）は、「(仮称) 道の駅姫路」整備及び運営事業（以下「本事業」という。）に関して、落札者決定基準に基づき、提案内容の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに公表します。

令和8年2月2日

(仮称) 道の駅姫路整備運営事業者審査委員会

委員長	田原 直樹
副委員長	吉弘 拓生
委員	今西 珠美
委員	沖野 智子
委員	雲丹亀 和博

— 目 次 —

1 審査委員会の構成.....	1
(1) 審査委員会設置目的	1
(2) 審査体制	1
2 審査の概要.....	1
(1) 審査の方法	1
(2) 審査の手順	2
(3) 募集の経緯	3
(4) 審査委員会の開催	4
3 審査の結果.....	5
(1) 参加資格審査	5
(2) 提案審査	5
(3) 価格審査	6
(4) 総合評価点の算出及び優秀提案者の選定	7
(5) 優秀提案者の構成	7
4 審査講評.....	7
(1) 定性審査に関する審査講評	7
(2) 総評	8

1 審査委員会の構成

(1) 審査委員会設置目的

姫路市（以下「市」という。）は、本事業における優秀提案者の選定に関し、公平性及び透明性を確保するとともに、専門的な評価等を行うため、学識経験者等から構成される審査委員会を設置した。

(2) 審査体制

審査委員会の委員は、以下のとおりである。

表 1 審査委員会の委員

(敬称略)

区分	氏名	所属・役職等
委員長	田原 直樹	兵庫県立大学・名誉教授
副委員長	吉弘 拓生	一般財団法人地域活性化センター・フェロー
委員	今西 珠美	流通科学大学商学部経営学科・教授
委員	沖野 智子	沖野智子公認会計士事務所・公認会計士
委員	大枝 千晋	国土交通省近畿地方整備局姫路河川国道事務所・副所長 (～令和7年3月)
	雲丹亀 和博	同 上 (令和7年4月～)

2 審査の概要

(1) 審査の方法

優秀提案者の選定は、参加資格の審査（以下「参加資格審査」という。）及び提案書の審査（以下「提案審査」という。）並びに入札価格審査（以下「価格審査」という。）により行う。

参加資格審査は、入札者の参加資格要件の適格性を審査するものとし、その審査結果について、以降の提案審査及び価格審査には反映しない。

提案審査は、提案書の内容の定性的な評価（以下「定性審査」という。）を審査委員会が行い、価格審査は入札価格に基づき市及び審査委員会が行う。

審査委員会は、定性審査の結果及び価格審査の結果から総合評価点を算出し、優秀提案者を選定する。

$$\text{総合評価点} = \text{定性審査 (各提案の評価点)} + \text{価格審査 (価格点)}$$

総合評価点は1,000点を満点とする。定性審査及び価格審査の配点は以下のとおりである。

表 2 定性審査及び価格審査の配点

審査内容	配点
定性審査（各提案の評価点）	800
価格審査（価格点）	200

(2) 審査の手順

審査の手順は、以下のとおりである。

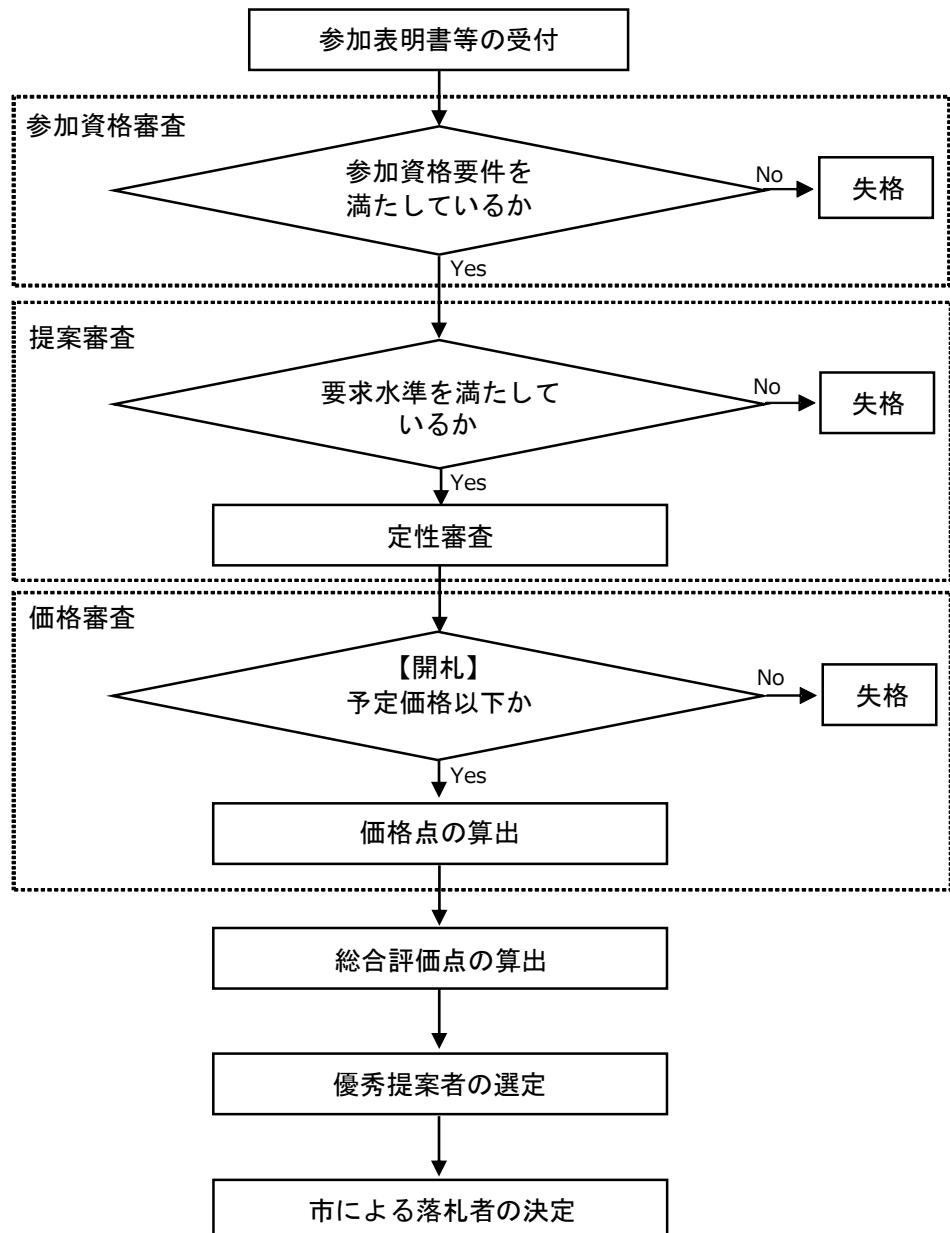


図 1 審査の手順

(3) 募集の経緯

募集の経緯は、以下のとおりである。

表 3 募集の経緯

日程	内容
令和7年	
2月 26 日 (水)	実施方針及び要求水準書（案）の公表
2月 26 日 (水)～3月 24 日 (月)	実施方針及び要求水準書（案）に関する意見・質問の受付
5月 16 日 (金)	意見・質問への回答の公表
7月 8 日 (火)	特定事業の選定及び公表
7月 10 日 (木)	公告（入札説明書等の公表）
7月 10 日 (木)～8月 4 日 (月)	入札説明書等に関する質問の受付
9月 19 日 (金)	質問への回答の公表
9月 26 日 (金)～9月 30 日 (火)	入札参加表明書及び入札参加資格審査書類の受付
10月 6 日 (月)	入札参加資格審査結果通知
10月 14 日 (火)～10月 17 日 (金)	直接対話及び直接対話の議題受付
10月 30 日 (木)	直接対話の実施
12月 5 日 (金)～12月 12 日 (金)	提案書の受付
令和8年	
1月 15 日 (木)～1月 19 日 (月)	入札書の受付
1月 30 日 (金)	提案書に関する事業者ヒアリング
2月 2 日 (月)	開札及び落札者の決定

(4) 審査委員会の開催

審査委員会の開催日及び内容は、以下のとおりである。

表 4 審査委員会の開催日及び主な審議事項等

回数	開催日	主な審議事項等
第1回	令和7年2月18日（火）	<ul style="list-style-type: none">・委員長及び副委員長の選出・実施方針及び要求水準書（案）について・入札参加資格について
第2回	令和7年6月23日（月）	<ul style="list-style-type: none">・落札者決定基準について
第3回	令和7年11月17日（月）	<ul style="list-style-type: none">・審査手順等について
第4回	令和8年1月30日（金）	<ul style="list-style-type: none">・事業者ヒアリング・定性審査による各提案の評価点の算出
第5回	令和8年2月2日（月）	<ul style="list-style-type: none">・総合評価点の算出及び優秀提案者の選定・審査講評に関する意見交換

3 審査の結果

(1) 参加資格審査

参加資格審査において、2 グループから入札参加表明書等の提出があり、入札説明書に示す入札者の参加資格要件を満たしているかについて審査した結果、いずれのグループも入札参加資格を有していることを確認した。

なお、提案内容を適正に評価するため、提案審査は匿名審査で行うこととし、入札者ごとに番号を付与した。

表 5 入札者 (受付順)

番号	入札者
829	姫路しらさぎグループ
489	姫路道の駅プロジェクトチーム

(2) 提案審査

1) 要求水準の達成状況の確認

提案審査において、2 グループから提案資料の提出があった。市は、提案内容を精査し、いずれのグループも提案内容が要求水準を満たしていることを確認した。

2) 定性審査

審査委員会は、落札者決定基準に基づき定性審査を行った。定性審査の判断基準は以下のとおりである。

表 6 定性審査における判断基準

ランク	判断基準	採点基準
A	非常に優れている	配点×1.00
B	優れている	配点×0.75
C	やや優れている	配点×0.5
D	わずかに優れている	配点×0.25
E	要求水準を満たす程度である	配点×0.00

定性審査の結果は、以下のとおりである。

表 7 定性審査の結果

評価項目（大項目）	配点	姫路しらさぎ グループ	姫路道の駅 プロジェクトチーム	
事業計画全般に関する事項	140	86.0	73.0	
設計・建設に関する事項	240	134.0	147.5	
維持管理に関する事項	80	43.0	43.0	
運営に関する事項	280	163.0	154.5	
その他 の事項	市内業者の活用に関する事項 の事項	20 40	10.0 40.0	11.0 40.0
定性審査による各提案の評価点	800	476.0	469.0	

(3) 価格審査

価格審査において、2グループから入札書の提出があった。市は、いずれのグループの入札価格も予定価格の範囲内であることを確認し、以下の式により価格点を算出した。

$$\text{価格点} = 200 \times \frac{\text{最低入札価格}}{\text{評価対象入札価格}}$$

価格審査の結果は、以下のとおりである。

表 8 価格審査の結果

	姫路しらさぎ グループ	姫路道の駅 プロジェクトチーム
入札価格	3,579,300,000	3,574,050,000
価格点	199.7	200.0

※価格点の算出に当たり、小数点第2位を四捨五入している。

(4) 総合評価点の算出及び優秀提案者の選定

審査委員会は、定性審査の結果及び価格審査の結果から総合評価点を算出し、「姫路しらさぎグループ」を優秀提案者として選定した。

表 9 総合評価点

	姫路しらさぎ グループ	姫路道の駅 プロジェクトチーム
定性審査（各提案の評価点）	476.0	469.0
価格審査（価格点）	199.7	200.0
総合評価点	675.7	669.0

(5) 優秀提案者の構成

優秀提案者「姫路しらさぎグループ」の構成は以下のとおりである。

表 10 優秀提案者の構成

参加区分	代表企業名
代表企業	株式会社ノバック
構成企業	株式会社 T T C 株式会社ニュージェック 兵庫事務所 昭和株式会社 姫路営業所 平錦建設株式会社

4 審査講評

(1) 定性審査に関する審査講評

いずれのグループも、本事業の目的等を理解し、コンセプトの実現を期待できる提案であった。各グループの提案内容に関する審査講評は、以下のとおりである。

1) 姫路しらさぎグループ

姫路しらさぎグループの提案は、運営企業のこれまでの実績から蓄積された知見やノウハウを最大限に活用した魅力ある道の駅の創出、地域への利益還元、地域の価値の向上に資する提案を高く評価した。

また、特産品やオリジナル商品の開発を強く推し進めている点や、施設の清潔な環境が利用者満足に直結するとの考え方にもとづき、細かな配慮が行き届いた作業内容となっている点を高く評価した。

一方で、道路休憩施設・地域振興施設間の交流空間・滞留空間としての屋外エントランスやフリースペース・屋外こども遊び場など建築系施設以外の施設配置に関し、利用者視点に立った提案を期待する意見もあった。

2) 姫路道の駅プロジェクトチーム

姫路道の駅プロジェクトチームの提案は、単なる物販飲食を通じた賑わいの創出ではなく、市内外の利用者の交流促進を重視しており、「(仮称) 道の駅姫路」のコンセプトの実現に寄与する点を高く評価した。

また、「道の駅」の建物は、特徴的なデザインの大屋根が提案され、高山をはじめとする山並みを背景とした景観上のポイントであるのみならず、本道の駅のシンボルとして集客向上に寄与することと合わせ、大屋根の下、施設の中心に位置するフリースペースは、交流促進に寄与することができる点についても高く評価した。

一方で、全体的に提案が具体性に欠けており、フリースペースの活用方法や集客力向上のために実施するイベント、地域との具体的な連携方法については、もう少し踏み込んだ提案を期待する意見もあった。

(2) 総評

姫路市は、世界遺産・国宝姫路城を中心に国内外から多くの観光客が訪れており、本事業で整備する道の駅は、単なる道路利用者の休憩施設ではなく、地元産品の買い物や飲食で楽しむことに加え、利便性・魅力向上機能や交流機能を併せ持った施設とする目的とし、設計業務、建設業務、維持管理・運営業務を一括で発注するD B O方式により整備するものである。

審査委員会は、事業者の募集のために必要となる実施方針等の作成から優秀提案者の選定に至るまで、各委員の専門知識や経験等により、多角的な視点から検討し、審査を行ってきた。

このたびの公募に参加した入札者の提案は、いずれもグループの持ち味を生かし、基本計画で求める「播磨の実力（みりょく）にあふれ、世代・地域を超えた交流を生み出す道の駅」の実現を期待できる提案であった。

長期に渡る公募プロセスに参加し、鋭意努力して各種提案書類を作成していただいたことに対して敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げたい。

審査委員会では、落札者決定基準に基き、評価項目毎の委員間での意見交換や事業者へのヒアリング結果等を踏まえた審査を行い、市内産品・特産品を活用した新たな商品開発を積極的に進める意欲的な運営により、新たな地域経済の拠点となることが大いに期待できる提案を行った姫路しらさぎグループを優秀提案者として選定した。

なお、審査委員会は姫路しらさぎグループを優秀提案者として選定したが、提案内容においては、本事業をより良い事業とするために改善が必要と考えられる点も見られた。そのため、落札者として決定した姫路しらさぎグループに対しては、本事業の実施にあたり、要求水準及び提案内容を確実かつ円滑に履行することはもちろん、以下の事項について十分配慮し、市が求める協議や調整等に誠意を持って対応されることを要望したい。

【審査委員会からの付帯事項】

- ・事業を推進するにあたっては、代表企業を中心に、事業期間全体にわたり構成企業間の連携・情報共有・意思疎通を十分に強化し、市と密接な連携を図った上で、構成企業が一体となって取り組んでいただきたい。

- ・基本構想・基本計画を踏まえ、「播磨の実力（みりょく）」を十分に整理分析・理解した上で、市とも十分に協議をしながら、姫路市らしい道の駅、市民が誇りに思う道の駅の実現に努めていただきたい。
- ・設計については、ヒアリングにおける疑義事項は必ず解消することはもちろん、利用者の目線でよりよい施設となるよう努めていただきたい。
- ・運営については、提案内容を確実に実施するとともに、姫路市ならではの特徴ある道の駅の実現に向けた取り組みを進めていただきたい。